

製品名: VPAC1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19821**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	VIPR1 VIPR1; Vasoactive intestinal polypeptide receptor 1; VIP-R-1; Pituitary adenylate cyclase-
別名	activating polypeptide type II receptor; PACAP type II receptor; PACAP-R-2; PACAP-R2; VPAC1
遺伝子 ID	7433.0
SwissProt ID	P32241
免疫原	抗血清はヒト VIPR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 332-381

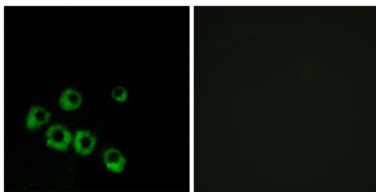
背景

血管作動性腸管ペプチド受容体 1 (VIPR1) ホモサピエンス この遺伝子は、小さな神経ペプチドである血管作動性腸管ペプチドの受容体をコードする。血管作動性腸管ペプチドは、平滑筋の弛緩、外分泌・内分泌、肺および腸管上皮における水・イオンの流入に関与する。その作用は、アデニル酸シクラーゼを活性化するグアニンヌクレオチド結合タンパク質と会合した膜貫通型受容体を介して発揮される。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011年10月]、機能: これはVIPの受容体である。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを活性化するGタンパク質によって媒介される。親和性はVIP = PACAP-27 > PACAP-38です。類似性: Gタンパク質共役受容体2ファミリーに属します。組織特異性: 肺、HT29結腸上皮細胞、Raji Bリンパ芽球。脳、心臓、腎臓、肝臓、胎盤でも発現が弱い。CD4+またはCD8+ T細胞では発現しない。T細胞株 HARRIS、HuT 78、Jurkat、Tsup-1 では発現するが、T細胞株 PEER、MOLT-4、HSB、YT では発現しない。

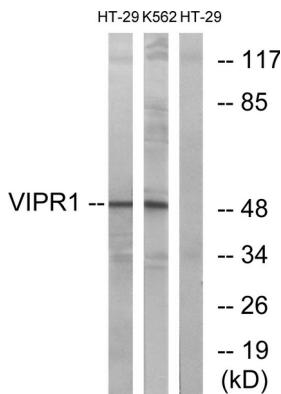
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

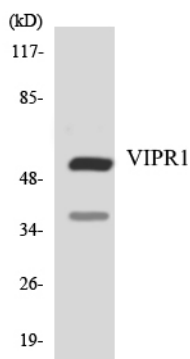
画像データ



VIPR1抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



VIPR1抗体を用いたHT-29細胞およびK562細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



VIPR1抗体を使用したHeLa細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。